

細谷小学校地域協議会だより

昨年5月に、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受けて、児童全員が集まって集会活動を行ったり、グループで給食を食べたりするなど、学校活動も徐々に平常に戻りつつあります。地域協議会の活動も、学校の感染症対策に準じながら進めてまいりました。

さて、今年度、細谷小学校地域協議会の活動は、2月に実施しました第4回会議をもってひと区切りとなりました。今年度も、地域の皆様には学校における各種ボランティアへのご協力をはじめとして、地域協議会の活動に対しまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。来年度も、引き続きよろしくお願いいたします。

これまでの活動から

○稲刈り

食農体験学習の一環として行っている稲刈り。2年生と5年生が体験しました。多くのボランティアの方にお手伝いしていただきました。



○ひまわりクラブの活動

子供たちが夏休み明けに持参した絵や工作、読書感想文などを、コンクールごとに仕分けしたり目録を作成したりしていただきました。また、家庭科の授業において、ミシンの補助作業をしていただきました。



○コスモス会の読み語り

朝の時間は教室で子供たちを目の前にして、給食の時間には放送室からいろいろなお話を読み語りしていただきました。



今年度の会議

第3回会議（11月9日）

第3回会議では、各学級の授業参観をしたり、給食の試食をしたりしました。その後、アンケート評価を行いました。

給食試食会では、学校栄養士の先生から、安心・安全な給食を提供するための取組や、地産地消の取組などの説明を受けました。



（授業参観の様子）

第4回会議（2月6日）

地域協議会の役割の一つに、「学校運営について意見を述べること」があります。宇都宮市の小中学校では、学校経営の状況について「学校マネジメント学校評価書」に基づいた学校評価を毎年行っています。第4回会議では、学校評価のために行ったアンケートの結果をもとに意見交換をしました。

【委員から出された意見】

- ・社会、保護者のニーズが多岐にわたっている中で、学校の努力が感じられる。
- ・「時と場に応じたあいさつ」などについては、校外の挨拶があまりできていないように思う。このことは地域の安全なまちづくりとも関係があると思われる。誰もが暮らしやすいまちづくりを進めていきたい。



（給食試食会の様子）